

超短期海外派遣プログラム（シンガポール&マレーシア）募集要項

募集概要：

本プログラムはグローバル理工人育成コースの一環として実施されます。本プログラムへの参加は、コースの単位が付与されます^(注)。南洋理工大学、シンガポール工科・デザイン大学、マラヤ大学、企業への訪問等が予定されています。本プログラムの参加者を下記の通り募集致します。

【派遣先】 シンガポール、マレーシア(クアラルンプール)

【渡航期間】 2017年3月5日(日)～3月16日(木)

*フライトはシンガポール航空利用予定。経路は往路が成田-シンガポール、マレーシアへの移動は同航空利用にてシンガポール-クアラルンプール。復路は、シンガポール経由にて羽田着予定。

【費用】 約18万円

(費用に含まれるもの：航空券代、空港税、現地宿泊費)

*現地での諸経費(ビザ代、食費、交通費、学生交流に係る費用等)は含まれない。

*大学の指定する海外旅行保険に加入すること。

*参加人数によっては費用が上がる可能性がある。

【応募資格】

1. 東工大正規課程学生(学士課程学生)。国籍・性別・学年・学科等は不問。
2. 現地で英語授業を聴講する程度の語学力を有していることが望ましい。
3. グローバル理工人育成コースに所属し以下の通りコース修了に向けた活動を行っている学生を優先する。
 - ① グローバル理工人育成コースの4つの教育プログラムの科目履修単位取得数が修了要件に近い。
 - ② 学修ポートフォリオに必要事項(「科目省察」等)を記入している。

*グローバル理工人育成コースの所属・修了等の詳細は、以下のURLにて要確認。

<http://www.ghrd.titech.ac.jp/w/>

【応募方法】 添付の申請書をグローバル人材育成推進支援室宛てに提出。

【募集人数】 10名 (最少催行人数6名に達しない場合、プログラムを中止する場合がある。)

【選考方法】 書類審査及び面接

【応募締切】 2016年11月24日(木)

*応募に際しては、申請書類に類主任または学科長の承認を必ず得ること。

【面接予定日】 2016年11月28日(月)

【事前・事後学習】

本プログラム参加者は、単位付与の一環として、下記の事前・事後学習への参加が義務付けられる。

2016年12月7日(水) 全体オリエンテーション(書類手続き等説明)

2016年12月14日(水) 書類提出会

2016年12月日程別途：事前学習1 参加者マニュアル説明、プログラム概要説明と分担決め等

2017年1月日程別途：事前学習2 訪問国出身者によるブリーフィング等

2017年2月日程別途：事前学習3 訪問先に関するブリーフィングとプレゼン練習

2017年4月：個別報告会

2017年4月：合同報告会@留学フェア(代表者のみ)

【奨学金支援】

本プログラムは、独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）の奨学金（日本人学生）、東京工業大学基金（留学生）対象である。以下の基準を満たした学生には10万円が支給される場合がある。（別途書類の提出が必要。必要書類については、選考後の全体オリエンテーションにて説明する。）なお、学内規定により国費留学生には奨学金の支給はない。

奨学金支給基準：

1. 日本国籍を有する者または日本への永住権のある者（独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）国費以外の留学生（東京工業大学基金））
2. 前年度の成績評価係数が2.30以上（JASSO規定の計算式に基づく）であること ➡ 学業成績書で確認する。下記表により「成績評価ポイント」に換算し、計算式に当てはめて算出（小数点第3位を四捨五入）

成績評価	100～80点	79～70点	69～60点	59点以下
成績評価ポイント	3	2	1	0

〈計算式〉

（「評価ポイント3の単位数」×3）＋（「評価ポイント2の単位数」×2）＋（「評価ポイント1の単位数」×1）＋（「評価ポイント0の単位数」×0）／ 総登録単位数

3. 前年度の成績評価係数が2.0以上～2.3未満（JASSO規定の計算式に基づく）の場合、自己推薦書を提出することで、支給が認められる場合がある。
4. 経済的理由により、自費のみでの派遣プログラムへの参加が困難な者（原則として家計基準に合致する者） ➡ 申立書を根拠とする。
5. 派遣プログラム参加にあたり、他団体から奨学金を受ける場合、他団体等からの奨学金の支給月額が本制度による支給金額を超えない者

（注）

1. 1年生および下記2.に当てはまらない2年生の参加については、「グローバル理工人研修入門1B」の単位が付与される（1単位）。（この場合、実践型海外派遣プログラムの単位とはならない。）
2. 下記の条件を満たす2年生の参加については、「グローバル理工人研修1B」の単位が付与される。
2年生後学期終了時点で、
 - 1) 国際意識醸成プログラム3単位を修得済。
 - 2) 英語力・コミュニケーション力強化プログラムを4単位以上修得済。
 - 3) 科学技術を用いた国際協力実践プログラムを4単位以上修得済。
3. 3年生及び下記条件を満たす4年生の参加については「グローバル理工人研修1B」の単位が付与される。
 - 1) 当該海外派遣プログラムによる得られる単位の有無にかかわらず、卒業できる見込みがある。
 - 2) 卒業あるいは大学院進学認定に必要な手続きに支障を及ぼさない。
4. 上記にかかわらず、「グローバル理工人研修」等の科目ではなく、所属学科の科目による単位付与が行われる場合がある。
5. 帰国後、本学において単位認定出来ない場合には、奨学金を返納することになる。事前事後学習を含めたプログラム全体に主体的に参加すること。
6. 安全上の理由によりプログラムが渡航延期、中止される場合があり、その際キャンセル料については原則自己負担となる。

【問合せ・申請書提出先】

留学情報館・グローバル人材育成推進支援室（大岡山南6号館4階405号室） メールボックス：S6-13
電話：03-5734-3520 / e-mail: ghrd.sien@jim.titech.ac.jp

平成28年度超短期派遣(シンガポール&マレーシア)日程案

注: 訪問内容は現地の都合により一部変更になることがあります。

Date		行動予定(フライトは予定)	訪問内容	宿泊
	2017 3月5日	(日) 成田発(シンガポール航空)		シンガポール
Day 1	3月6日	(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・講義体験 ・キャンパス, 研究室見学 ・Chinese Medical Clinic訪問 ・SIMTech訪問 ・日本語クラス学生との交流会 	
Day 2	3月7日	(火) 南洋理工大学訪問		
Day 3	3月8日	(水)		
Day 4	3月9日	(木) シンガポール工科・デザイン大学訪問	<ul style="list-style-type: none"> ・講義体験 ・キャンパス, 研究室見学 	
Day 5	3月10日	(金) 企業訪問	・東レ研究所 など	
Day 6	3月11日	(土) シンガポール国立博物館/アジア文明博物館/プラナカン博物館見学		
	3月12日	(日) シンガポール市内見学 マレーシアに移動(シンガポール航空)		マレーシア
Day 7	3月13日	(月) マラヤ大学	<ul style="list-style-type: none"> ・講義体験 ・キャンパス, 研究室見学 	
Day 8	3月14日	(火)		
	3月15日	(水) マレーシア市内見学 マレーシア発(シンガポール航空)		機内泊
	3月16日	(木) 成田着		